



あなたは、公園に行ったことがありますか？もし、あなたの行った公園が汚れていたり、荒れ放題だったら……。

このようなことのないよう、近くにある公園を自分たちの手できれいにし、守っていこう—というのが公園愛護会。

市内には、この愛護会によって管理されている公園が、52カ所あります。この中の一つ、鷹岡にある入山瀬公園を滝川に住む主婦、長島澄子さんにレポートしていただきました。

# 公園は私たちの顔

地区民の当番制で維持管理

S L公園で知られる

入山瀬公園

レポーター

主婦 長島澄子さん (50歳)

東滝川町



## 公園を守る愛護会

現在富士市には、73ヶ所の公園が設置されています。その目的によってそれぞれの名称があるわけですが(例えば児童公園、緑地公園など)

私は鷹岡にある入山瀬公園をルポしてみました。

その名の示すように入山瀬駅の西

側にあるこの公園は、広さは0.33<sup>ヘクタール</sup>と中規模ながら近隣6地区の当番制によって、ていねいな管理がなされています。区子ども会・婦人会・老人会など、去年は延べ1,099名の人たちの労力奉仕があったとか。実に整然としており、地区民の公園への愛情がそここにみられ、まず心うたれました。公園の半分は、全くの広場で小グラウンドという感じですっきりしていて、周囲の生垣もきれいに刈り込まれ、チリひとつない、すがすがしい風景でした。

## 行き届いた管理運営

公のものだからと他人まかせにせず、近所の人はもちろん、公園愛護会の会員がたえずみまわっている

# 第1位は田子浦臨港線

## 交通量調査結果まとまる

市は、昭和57年度の交通量調査結果をこのほどまとめました。

調査結果によると、市内で交通量が最も多かったのは、今年4月、西富士バイパスと連結した田子浦臨港線の2万254台。次いで、昨年1位だった臨港富士線の1万3,061台。3番目が富士鷹岡線の1万1,891でした。

富士鷹岡線は、一昨年まで、市内で最も交通量の多い道路でしたが、今年昨年より485台減少していました。また、昨年との伸び率で一番高かったのが田子浦臨港線の1.77倍。

交通量調査は、7月28日の午前7時から午後7時までの12時間、市内18カ所で行いました。



西富士バイパスと接続した田子浦臨港線